

事業所名

遠野地域福祉事業所 ぐんぐんはうす

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

14 日

法人（事業所）理念		よりそう・ひきだす・はぐくむ ・子ども達がぐんぐんはうすですごす時間を楽しいと感じるような居心地のよい空間を提供します。・子ども達の小さな変化を見逃さず、やる気を引き出すような支援を行います。 ・一人ひとりの「らしさ」を尊重し、社会生活に必要な力を身につけるお手伝いをします。・スタッフ間の連携のもと、一人ひとりの子どもに適した支援を提供します。									
支援方針		子どもの主体性を大切にした支援を行い、子ども達の考えややりたい気持ちを尊重した環境、支援を提供します。 子どもの成長を保護者や養育者、きょうだいなどと共有しながら、感動、共感できる支援を継続します。									
営業時間			9 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	（あり）	なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・毎日の健康観察を確実にを行います。（検温・排泄状況の把握） ・おやつ・お弁当時、食事の支援を行います。（咀嚼・嚥下機能、姿勢保持、手指の運動機能の支援） ・衣服の着脱、身の回りの清潔を保つ支援をします。（脱いだ衣服の管理・手洗いの習慣化） ・基本的な生活リズムや必要なスキルを習得できるための支援をします。（時間管理のための声かけや視覚支援・遊んだ後の片づけの習慣化）									
	運動・感覚	・運動機能の向上に向けた支援をします。（施設内や体育館、公園での運動遊び、目と手の協応・巧緻性を育む制作活動やブロック遊び） ・事業所外での移動や交通機関の利用などの支援をします。（外出行事・体育館利用等の移動時） ・固有覚（身体イメージ）、前庭覚（身体の傾き・スピード・回転）の活用・調整のための支援をします。（運動遊び・体育館での運動・リズム遊び） ・嗅覚、視覚、味覚を発達させるため、おやつ作り、簡単な食事作りを行います。									
	認知・行動	・情報を適切に処理できるための支援をします。（活動例 カードゲーム・すごろく・買い物ごっこ） ・物の機能や属性、形、色が変化する様子、大小、数、重さ、空間の概念の形成を図るための支援をします。（活動例 ブロック遊び・塗り絵・ビーズ・フェルト手芸）									
	言語 コミュニケーション	・言葉だけでなく、表情や身振り、各種の機器を用いて意思表示ができるよう支援します。 ・文字・記号等の受容と表出の支援をします。（宿題支援により読み書き能力の向上を図ります） ・スタッフ・友達との会話を通して、集団の中の言動・対応など人との関わり方の支援をします。 ・しりとり等の遊び、読み聞かせを通して、語彙を増やし、表現力の向上を図ります。									
	人間関係・社会性	・挨拶の習慣化を図ります。 ・不安になった際に、相談にのって安心感を得られるような「安心の基地」の役割を果たします。 ・自分の感情、生理的な変化による情緒の変化の幅を小さくするような言葉かけをして支援します。 ・集団に参加する手順やルールを理解し、相互理解を図って仲間づくりにつながるよう支援します。（一人遊び→並行遊び→連合的な遊び→協同遊び） ・集団での外出や活動の中で、集団でのルールや行動の仕方を身につけるよう支援します。									
家族支援		・利用者、保護者との信頼関係を築き、保護者や養育者、きょうだいの心配や困りごとに関する助言や相談を行います。 ・年2回保護者交流会をもち、悩みごとの解決、保護者、きょうだいどうしの交流を図ります。						移行支援		将来的な生活場面の移行に向けた準備としての支援を進めます。主に生活や遊びを通してコミュニケーション能力を育みながら、より多くの人との関わりを大切にしてゆく支援をします。	
地域支援・地域連携		子どもが地域の一員であることを踏まえ、当たり前前に生きられる環境をめざした包括的な支援を行います。そのために医療機関、子育て支援課、保健師、相談専門員等の専門機関と連携します。適宜、地域会議等に参加します。						職員の質の向上		必要に応じて公的な外部研修会に参加し、その内容を他の職員に復命伝達をします。虐待防止・身体拘束に関するものや感染症の対応の仕方の研修会を行い、職員の知識や技術の向上を図ります。	
主な行事等		・利用児童の誕生会（各月） ・季節に合わせた行事（ハロウィン・クリスマス会・進級卒業祝いの会 等） ・長期休業の外出（体育館利用・見学体験型行事・外食体験・買い物体験・自販機体験 等） ・遠野地福（こむこむはうす・わの里）内の交流行事…おうちフェス（年1回）・職場見学・カフェ体験									